

平成22年4月定例記者会見資料

と き 平成22年4月5日（月）
13：00 ～
と ころ 401号会議室

事 項

1	第20回「安部賞」表彰式	1
2	まるまげ祭り	2
3	ごんごん鐘つき大会	4
4	平成22年4月～5月の主な行事予定	5

出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、市民部長、建設部長、
産業部長、防災・危機管理監、教育次長、消防長、
企画広報室長

第20回「安部賞」表彰式について

氷見市の次代を担う青少年の育成等を図るため、その業績が顕著で、将来の活躍が期待できる個人又は団体を顕彰する。

◇ 第20回「安部賞」表彰式

1 日 時 平成22年4月19日(月) 午後2時

2 場 所 氷見市教育文化センター 4階 ホール

3 日 程

- ・開式の辞
- ・表彰者選考報告（氷見市「安部」人づくり委員長）
- ・表彰状贈呈
 (受賞者) 教育・文化部門 氷見市立十二町小学校
 体育スポーツ部門 稲積京之介
- ・式 辞（氷見市長）
- ・祝 辞（氷見市議会議長）
- ・安部喜方氏のお言葉
- ・謝 辞
- ・閉式の辞

問い合わせ先
学校教育課 学務担当 山口
電話 74-8213

平成22年度 安部賞候補調書

(団体)

部門名	教育・文化	部門内順位	第1位
ふりがな 団 体	氷見市立十二町小学校	ふりがな 代表者名	校長 竹越 順子
所在地	富山県氷見市万尾485		
組織構成	児童数 104名	学級数	7学級
団体の 概要	<p>校区一帯は万葉ゆかりの水郷地帯で、北西部には山林が広がるなど豊かな自然が残されている。校区には「十二町潟オニバス発生地」と絶滅危惧種「イタセンパラ」の2つの天然記念物が指定されており、メダカやタナゴなどの希少な水生生物も比較的多く生息している。また、平成10年以来、毎年白鳥が十二町潟に飛来するなど、自然体験活動の学習素材が豊富である。</p> <p>本校では、昭和45年から継続しているオニバスの栽培研究のほか、イタセンパラの飼育研究及び白鳥の観察活動を、現在も総合的な学習の時間に、毎年テーマを決めて進めている。</p>		
功績の内 容	<p>本校では、絶滅危惧種オニバスは39年間、国内希少野生動物種イタセンパラは3年間と、長期にわたって栽培・飼育及び観察を継続してきている。現在も総合的な学習の時間を生かして、これらの動植物の種の保存に資する活動に携わっている。</p> <p>十二町潟水郷公園のオニバス池への移植用に苗を提供したり万尾川への移植を試みたりする一方、「一人一蓮運動」</p>		

	<p>として家庭での栽培を推進し、家庭や地域の協力も得て、オニバスの種の保存と繁殖に努力している。</p> <p>また、本年度、全国初の学校での人工飼育によるイタセンパラの産卵・孵化を成功させた。現在はその孵化した成魚による産卵に挑戦し、2度目の孵化に向けて研究を継続させており、人工飼育法の確立を目指している。</p> <p>白鳥については、十二町潟での観察や「白鳥の会」等の指導を仰ぎ、その生態等について研究し、富山市池多小学校や射水市金山小学校とも情報交換し学び合っている。</p>
主な賞歴	<p>【学校として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成5年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 文化財愛護功労表彰受賞 (文化庁官) ○ 平成7年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 「環境庁水質保全局長賞」受賞 (環境庁 水質保全局長) ○ 平成11年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 指定書 愛鳥モデル校 (富山県知事) ○ 平成13年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 野生生物保護功労者表彰「日本鳥類保護連盟会長賞」 (日本鳥類保護連盟会長) ○ 平成14年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ とやま環境賞「優良活動賞」受賞 (財団法人「富山・水・文化の財団」) ○ 平成15年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 全国野生生物保護実績発表大会 (財)日本鳥類保護連盟「奨励賞」受賞 (日本鳥類保護連盟会長) ○ 平成19年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 水のめぐみに関する事業表彰 (水みらいプロジェクト実行委員会 委員長) ○ 平成21年度 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 富山県教育功労賞「優良学校」部門 (富山県教育委員会)

平成22年度

安部賞候補調書

(個人)

部門名	スポーツ	部門内順位	1		
ふりがな	いなづみ きょうのすけ	生年月日	年齢	性別	
氏名	稲積 京之介	昭和62年5月29日	22	男	
本籍	氷見市丸の内15-28				
現住所	神奈川県横浜市青葉区すみよし台28-17				
職業	大学職員	勤務先	日本体育大学		
功績の内容	小学校3年生からソフトテニスをはじめ、小学校5年生で県大会を制し、6年生で北信越大会2位になるなど、めきめきと実力をつけた。				
	中学校では、1年生で第12回全国都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会へ出場し、翌13回大会で富山県代表として初優勝した。				
	高校では、3年連続でインターハイに出場。3年生で5位に入賞し、国民体育大会でも3位に輝いた。				
	大学進学後も着実に力をつけ、一昨年の全日本総合選手権大会シングルスで準優勝、昨年は全日本学生大会シングルスで優勝し、今年も全日本インドア大会、国際札幌大会で優勝した。				
	現在はナショナルチームの一員として活躍している。				

主な経歴 (業績)	平成11年	第16回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 ベスト16(ダブルス)	
	平成14年	第13回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 優勝(ダブルス)	
	平成14年	第33回全国中学校ソフトテニス大会 個人ベスト16(ダブルス)、団体3位	
	平成16年	第11回JOC杯全日本ジュニアソフトテニス選手権大会 ダブルス男子1部優勝(ダブルス) シングルス男子1部ベスト8	
	平成17年	平成17年度全国高等学校総合体育大会 個人5位(ダブルス) 第60回国民体育大会ソフトテニス競技 少年男子3位(団体)	
	平成18年	第1回ソフトテニスジュニアジャパンカップ U21ダブルス優勝	
	平成19年	第14回全日本ソフトテニスシングル選手権大会 準優勝	
	平成20年	第50回全日本学生ソフトテニス大会 ダブルス準優勝、シングルス優勝 第28回全日本大学ソフトテニス王座決定戦 団体優勝	
	平成21年	第64回全日本ソフトテニス選手権大会 準優勝 YONEX CAP 2009 第10回国際札幌大会 優勝 第55回全日本インドアソフトテニス選手権大会 優勝	
	主な賞歴 ・年度 ・受賞名 ・部門名	平成15年、17年、19年、20年、21年 ・氷見市体育協会特別表彰	
		平成16年、17年 ・氷見市体育協会表彰	

[記者会見資料]

商工観光課

まるまげ祭りの開催について

「まるまげ祭り」を、下記のとおり開催します。祭当日は、花笠童子を先頭に、太鼓台や稚児、御輿、その後に“まるまげ嬢”など総勢100人余りが、お旅所から中心市街地などを通り、華やかに千手寺まで練り歩きます。

記

- 1 開催日 平成22年4月17日(土)
- 2 場 所 稲六前13:00集合・出発
稲六 ～ ブリンス館(集合写真撮影) ～ 千手寺
- 3 行事、催し等の内容
 - (1) 主な日程
 - 13:00 お旅所(稲六前)出発 → 北六町巡行 →
 - 13:50 ブリンス館(記念写真撮影)
 - 14:20 巡行再開 →
 - 15:00 千手寺到着 観音堂に参拝 境内にて行われる柴灯護摩修行に参加
 - 16:00 終了予定
 - (2) 参加者
まるまげ嬢(約50名) 一般公募による

4 まるまげ祭りの由来

まるまげ祭りは、かつて幸せな結婚を願った芸妓たちが、年に1度の休日に人妻を象徴する“丸まげ”を結び、市内の千手寺(幸町)の観音様に願かけをしたのが由来と伝えられている。しかし除々に芸妓の数も少なくなり一時衰退していたが、昭和62年から独身女性を対象として、参加者の一般公募を始めてから人気もにぎわいも復活した。市内だけでなく、県内各地の若い女性が“思い出づくり”にと、参加を競っている。

問合せ先

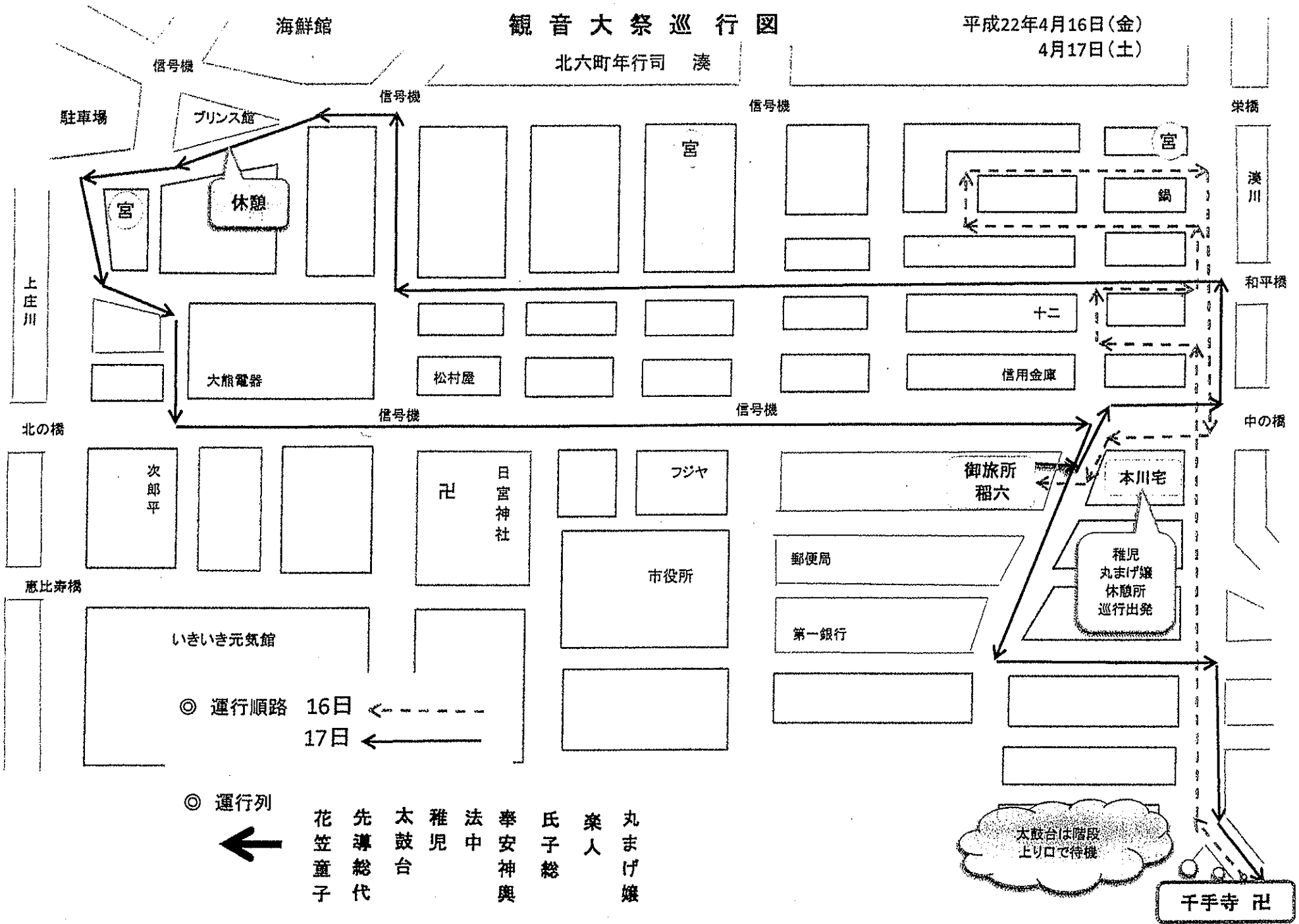
商工観光課観光担当

TEL 74-8106

観音大祭巡行図

平成22年4月16日(金)
4月17日(土)

北六町年行司 湊



◎ 運行順路 16日 ← - - - -
17日 ← - - - -

◎ 運行列
 ← 丸まげ嬢
 楽人
 氏子総
 奉安神輿
 法中
 稚児
 太鼓台
 先導総代
 花笠童子

太鼓合は階段上り口で待機

千手寺 卍

ごんごん鐘つき大会の開催について

ごんごん祭りの恒例イベントとなった「ごんごん鐘つき大会」を、下記のとおり開催します。

記

1 開催日時 平成22年4月18日(日) 18時30分～

2 場 所 上日寺鐘つき堂(朝日本町)

3 行事、催し等の内容

「ごんごん鐘つき大会」

一般の部 約50kgの丸太を担ぎ一分間で鐘をつく回数を競うもの

子どもの部 約20kgの丸太を担ぎ5回鐘をつく

4 ごんごん祭りの由来等

朝日本町・上日寺の朝日観音の祭礼で、その昔は氷見庄一町百カ村の総祭であった。言い伝えによると江戸時代初期に、氷見地方一帯が大干ばつになり、困りはてた百姓たちは、上日寺の観音様に雨ごいをした。大般若経が読まれ、天へとどけとばかりに鐘をつき鳴らした。そのかいがあつてか、待望の慈雨が降りそそいだ。人々は請願成就を感謝し、梵鐘を打ち鳴らして喜び合ったのが由来とされている。以来、報恩と厄よけの法会とともに、力自慢の若者たちが長大な松の生木の丸太で、釣り鐘を「ごーん、ごーん」と連打、そのため「ごんごん祭り」と名づけられた。

祭り当日、寺の鐘つき堂には丸太が置かれ、大会開催時間以外でも自由に鐘をつくことができる。

5 その他 祭り当日、「ごんごん茶会」も開催されます。

【日時】4月18日(日) 10時～15時 【場所】上日寺観音堂前

【費用】300円

問合せ先

商工観光課観光担当

TEL 74-8106

平成22年4月～5月の主な行事予定

4月

日	曜	行 事 名	資料ページ	時間	開 催 場 所	担当課
6	火	春の全国交通安全運動(～15日)	6	—	市内一円	市 民 課
17	土	まるまげまつり	2	13:00	中心市街地～ 千手寺	商工観光課
18	日	ごんごん鐘つき大会	4	18:30	上日時	商工観光課
19	月	第20回「安部賞」表彰式	1	14:00	教育文化センター 4階ホール	学校教育課

5月

日	曜	行 事 名	資料ページ	時間	開 催 場 所	担当課
2	日	獅子舞実演会(向嶋青年団)	8	14:00	ひみ獅子舞ミュー ジウム	農 林 課
6	木	定例記者会見	—	13:00	氷見市役所 401会議室	企画広報室
16	日	シンポジウム「氷見市ゆかりの能 『藤』を語る」 氷見市ゆかりの能「藤」公演	9	10:00 14:00	氷見市民会館	生涯学習課

春の全国交通安全運動について

春の全国交通安全運動に伴う、期間中の各特別行事実施計画についてお知らせします。

記

1 運動期間

平成22年4月6日（火）～15日（木）までの10日間

2 スローガン

「ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪」

3 基本・重点

基本 子どもと高齢者の交通事故防止

- 重点
- 1 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 2 自転車の安全利用の推進
 - 3 飲酒運転の根絶

4 特別デー

4月 6日（火） 子ども・高齢者への呼びかけの日

4月10日（土） 全国指定日：交通事故死ゼロを目指す日
飲酒運転根絶の日

4月12日（月） 自転車安全利用の日

4月15日（木） シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日

5 特別行事計画

別紙一覧表のとおり

問い合わせ先

市民課交通防犯担当 柴田

電話 74-8068

平成22年 春の全国交通安全運動期間中の特別行事計画						
スローガン 「ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪」						
期間 4月6日(火)～4月15日(木)						
基本重点		◎子どもと高齢者の交通事故防止		活動重点日		
1. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底		2. 自転車の安全利用の推進		4月6日(火): 子ども・高齢者への呼びかけの日		
3. 飲酒運転の根絶				4月10日(土): 交通事故死ゼロを目指す日		
				: 飲酒運転根絶の日		
				4月12日(月): 自転車安全利用の日		
				4月15日(木): シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日		
番号	行事名	日時	場所	主催	内容	参加人員
1	交通安全街頭出動式	4月6日(火) 7:30～	氷見警察署	市老人クラブ連合会 市交通指導員連絡会 市交通安全母の会 地域交通安全活動推進委員 交通安全アドバイザー 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交通安全対策協議会	警察署前において、関係機関・団体が集まって、春の全国交通安全運動に向けての出動式を開催する。併せて、参加者は、R160沿いにおいて桃太郎旗やプラカードなどを持って道路脇に一斉に立ち並び、ドライバーに交通事故防止を呼びかけるもの。	100名
2	交通安全メッセージ伝達式 <市長参加行事>	4月6日(火) 10:25～	市長応接室	富山県 氷見市	富山県知事からの「交通安全メッセージ」を、とやま特産大使から、市長に伝達するもの。	10名
3	3UPキャンペーン	4月7日(水) 14:00～	マックスバリュ氷見店	交通安全アドバイザー 市交通指導員連絡会 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交通安全対策協議会	自動車利用者の多いマックスバリュへの買い物客に対し、マナーUP、チェックUP、ライトUPの「3UP運動」をPRするチラシ等を配付するもの。	15名
4	飲酒根絶キャンペーン	4月8日(木) 14:00～	漁港前 (栄橋北詰)	氷見地区運転代行業協議会 市交通安全母の会 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交対協	市内の代行運転業者と氷見市交通安全母の会のメンバーが、飲酒根絶等と記載されたチラシ等を配布して、一般ドライバーに飲酒運転の根絶を呼び掛けるもの。	20名
5	シルバー「ライジング」スクール	4月9日(金) 13:30～	氷見自動車学校	氷見市老人クラブ連合会 氷見自動車学校 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交通安全対策協議会	高齢者ドライバーの事故が多発していることから、地区の老人クラブ員に対して、自動車教習員による実践的な指導を実施し、運動能力の低下や道路における危険事項等を再認識して貰って、安全運転を呼びかけるもの。	30名
6	「うめ～エ」(梅)運転で失敗(すっばい)事故なし!	4月10日(土) 9:30～	R160 稲積交差点付近	稲積好梅サークル 市安全協会稲積支部 市交通指導員連絡会 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交通安全対策協議	稲積地区特産の「稲積梅」をドライバーに配布して、交通事故を起こさないための交通安全を呼びかける。	30名
7	自転車安全利用呼びかけキャンペーン	4月12日(月) 10:00～	ハッピータウン	市交通指導員連絡会 市地域交通安全活動推進委員 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交対協	自転車利用の多いショッピングセンターハッピータウンへの買い物客に対し、自転車安全利用五則をPRするチラシ等を配付し、交通安全を呼びかけるもの。	20名
8	第28回 氷見市・七尾市 合同交通安全 県境キャンペーン <市長参加行事>	4月13日(火) 14:00～	R160(氷見市・七尾市県境大泊地内)	女良小学校 市安全協会女良支部 市交通指導員連絡会 交通安全アドバイザー	「交通安全に県境はない」を合言葉に、両市の関係者が集結し、握手をした後、交通安全キャンペーンを実施するもの。	100名
9	シートベルト・チャイルドシート着用徹底呼びかけキャンペーン	4月14日(水) 14:00～	国道415号大野地内 コンビニエンスストア「サンクス」前	市シルバー人材センター 氷見警察署 市交通安全協会 氷見市・市交対協	「締めたよね 全席みんなの合言葉」をスローガンに、シルバー人材センターの会員手作りマスクとチラシを配付しながら、全座席でシートベルト着用義務化を通行ドライバーに呼びかけるもの。	30名
10	交通安全ワカメ作戦	4月15日(木) 9:30～	R160 女良駐在所前	女良小学校 市交通安全協会女良支部 市交通指導員連絡会 氷見警察署 市交通安全協会	女良地区が中心となって、「交通安全の若い芽を育てましょう」を合言葉に地区の特産品であるワカメを配りながら、通行ドライバーに交通安全を呼びかけるもの。	80名

獅子舞実演会の開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、よろしくお取り計らい下さいますようお願いいたします。

記

「第2回獅子舞実演会」の開催について

- ・日 時 平成22年5月2日（日）午後2：00～
- ・会 場 ひみ獅子舞ミュージアム
- ・出 演 向嶋獅子舞保存会

- ・協力金 高校生以上の方に1人300円の実演協力金をお願いしています。
- ・主 催 ひみ獅子舞振興会
- ・会 場 ひみ獅子舞ミュージアム
- 連絡先 Tel 0766-72-2454（Fax同じ）月曜日を除く午前9時～午後5時

問い合わせ先

農林課 田園・漁村空間整備推進班
担当 佃，中葉
Tel 74-8036

氷見市ゆかりの能「藤」公演とシンポジウム開催のご案内

氷見市は、室町時代の名工とされる能面師「氷見宗忠」の出身地であるとともに能の演目「藤」は、氷見の田子の藤が舞台となっているなど、能楽ゆかりの地として広く知られています。加賀宝生会の流れを組む氷見宝生会が、古くから伝統文化の継承に努めてまいりました。

平成22年5月16日、氷見市ゆかりの能「藤」公演とシンポジウムを開催いたします。

第1部は、氷見宝生会の協力をえて、シンポジウム「氷見市ゆかりの能『藤』を語る」を開催し、宝生流佐野由於氏、藪利彦氏の記念講演とパネルディスカッション、能衣装の展示およびその説明会を行い、広く市民に「能楽」に対する理解を深めていただき、普及を図ることを考えています。

シンポジウム開催にあたり、自治総合センターの助成を申請中であり、参加者の入場は無料で実施する予定です。

第2部は、氷見宝生会が主管し、氷見の田子の藤が舞台となった能「藤」をはじめ、仕舞「善知鳥」「山姥」などの公演を実施し、広く市民に鑑賞いただくことにより、市民の「能楽」への関心の覚醒と普及につながるものと考えます。

◇日時 5月16日（日）

◇会場 氷見市民会館大ホール

◇事業内容

第1部 午前10時から午前11時50分

シンポジウム「氷見市ゆかりの能『藤』を語る」

- ・基調講演 宝生流 佐野由於氏
- ・パネルディスカッション
- ・能衣装展示と説明会
- ・入場無料

第2部 午後12時30分開場 午後2時より開演

氷見市ゆかりの能「藤」公演

- ・能「藤」
- ・仕舞「善知鳥」「山姥」ほか
- ・鑑賞料 2,000円 小・中学生無料

◇問い合わせ

氷見市民会館（市芸術文化団体協議会）TEL 74-8271